



こうほうでんごんぱん

2月の納税

- ・町民税……………第4期
- ・国保税……………第11期
- ・国民年金……………第11期
- ・保育料……………2月分

- 日曜診療 (午前9時～正午)
- ☑成人健康センター (法坂) (急患に限る)

法坂簡易郵便局で貯金オンラインサービス開始

昨年12月から法坂簡易郵便局(役場内)で全国の郵便局と直結したオン通帳による取扱いができるようになりました。従来、中里局、七日町局で使っていた通帳がそのままご利用でき、町税、NHK聴視料、電話料、電気料等の引き落としもできます。気軽にご利用ください。

☎0257-24-1414 福祉相談電話

福祉のことならどんなことでも相談に応じます。
福祉相談 ☎0257(24)1414

- 心配ごと相談
☑毎週火曜日(午前10時～午後3時)
☑延命荘 ☎95-2027
- 補聴器相談
☑毎週金曜日(午前10時～10時30分)
第2、4木曜日(午前10時30分～11時)
☑役場 ☎95-3111
- 交通事故相談所
・長岡相談所(長岡総合庁舎1階) ☎34-3111
月曜～金曜午前9時～午後4時
土曜日は午前中
- ・移動相談所
☑柏崎市役所
☑2月17日、3月2日、3月16日
- 献血車ゆうあい号来町
☑3月16日(水)
午前10時～午後3時
☑就業改善センター

「い県くらしのダイヤルです」☎025-285-7000

情報は正午に切り替えます。

消費生活相談事例	2月15日～22日
景品表示法の違反事例	2月22日～29日
消費生活相談事例	2月29日～3月7日
引越越しを頼む時	3月7日～14日
歩くことの効用	3月14日～22日
消費生活相談事例	3月22日～28日
化学雑布の試着テスト結果	3月28日～4月4日

・緊急な消費生活費情報は予定を変更することがあります。

JR東日本 塚山駅からのお知らせ

より便利に、より早く、より快適に、63年3月13日列車の時刻改正をします。JR東日本は新しいダイヤで期待にこたえます。
“普通列車2往復 増発します”
上り 9時17分新井行、17時47分、直江津行、下り 11時32分、16時37分長岡行です。

《塚山駅時刻表》

上り柏崎方面		下り長岡方面	
時刻	行先	時刻	行先
6:59	新井	6:22	長岡
7:24	直江津	7:28	//
8:26	直江津	7:58	//
9:17	新井	8:59	//
10:26	直江津	10:13	//
12:37	直江津	11:32	//
14:29	妙高高原	13:21	//
16:24	直江津	15:10	//
17:23	新井	16:37	//
17:47	直江津	17:36	//
18:42	新井	18:21	//
20:02	柏崎	19:14	//
21:31	直江津	20:44	//
22:35	柏崎	21:41	//

63年3月13日から上記時刻に改正いたします。乗り遅れのないように、お気をつけください。
くわしくは、2月下旬に新聞折込みでお届けいたします。
あなたの街から未来へのびる
JR東日本 塚山駅 ☎94-2203

し尿証紙販売店が「めいぢや」さんに変更

2月20日から、し尿証紙販売店が次のように変更になります。
くらし(押切)→めいぢや(武石)

編集室 ▶「暖冬少雪」とマスコミが騒ぎ、スキー場が雪乞いをするなど“暖冬フィーバー”は、むかしの話—と思わせるぐらい2月の寒波は強烈で、一変ドカ雪を運んできた。さすがは冬將軍/帳尻はきちんと合せてくる▶10日現在、役場付近で176cm(平年206cm)。広報マンもペンをスコップに持ちかえ、雪おろしに奮戦します▶今月号から少しずつ掲載内容や構成を工夫して、より読みやすく、おもしろい広報紙づくりを考えています。

せつぶん 節分

雑節のひとつ。立春の前日。2月3日または4日がこれにあたる(今年は3日)。

立春、立夏、立秋、立冬などいずれも四季ともに節分であるが、春ばかりにこの名が伝わった。追儺(疫鬼を追い払う習俗)の伝統と春のはじめに神が訪れて、祝福を与えてくれるという信仰が習合して悪鬼をはらう行事に成長した。

この夜、柵に入れた豆を年男が「鬼は外、福は内」などと唱えながら豆を内外に投げ、鬼を追って戸口をとざす、「まめまき」の行事が一般に行われている。



おにほいせよと、ふくはよむちや、ハラハラハラまめまきと
おにほいせよと、ふくはよむちや

—さて、やまなみ保育園では2月3日(水)、恒例のまめまきが行われました。先生たちが扮するちよつと太めの、おそろしい鬼たちが登場すると、一斉に「鬼は外、鬼は外……」。見る間に広いホールは床は豆でいっぱい。中にはびっくりして泣き出す園児もいました。園児たちの豆つぶてに鬼がたまらず退散すると、福の神(園長先生)が現れて、良い子のみんなにおやつをプレゼント。ホールの熱気とはうらはらに外は、明日は立春というのに猛吹雪。春が待どおしい寒～い一日でした。

として保存しましょう

印刷 小千谷市 位下印刷 小国町 役場

新潟県小国町 昭和63年 2/15 No.226

広報 おぐに

町の人口 1月31日現在 () 前月比
男 4,293人(+4) 女 4,419人(+1) 計 8,712人(+5) 世帯数 2,217(-2)

発行 小国町役場 [☎越後小国(0258)95-3111(代)] 編集 総務課庶務係

<1月のうごき> 出生8、死亡6、転入11、転出8

女性の目から
まちおこし・地域づくり

殿方が理想を求めるなら
わたくしたちは現実をみつめます!



昨年11月に開催された「地域おこし座談会」では、盛り上った座談会でしたが、女性の参加が少なかったため一面性的、片肺的な座談会の観もあり、「一町一心」のまちづくりを目指す点では確かに、キャストに欠けていたと思います。

そこで真打登場!!。今度の主役は女性たち。女性の目から見たまちづくりをーと、女性だけによる地域おこし座談会が1月16日(土)午後、就業改善センターで開かれました。

座談会には、20代から60代までの73人が参加し、町が「地域資源を生かした活性化対策」を委託している農村総合開発研究センターの宇都宮大・藤本信義教授や三橋伸夫、木下勇尚先生を囲んで、活発な話し合いが続きま

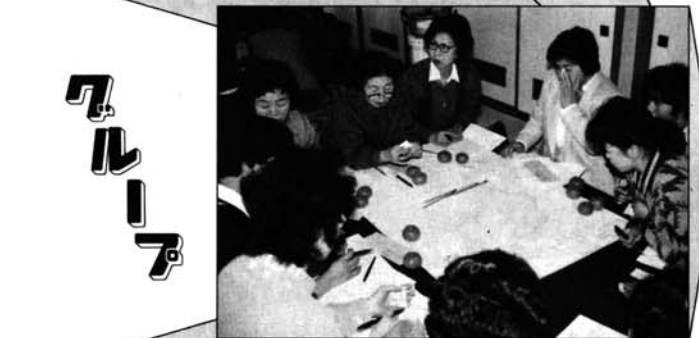


1班

6班に分かれて「地域資源について考える」ワークショップでは、町の地図を前にみかんを口にしながら、各自がアイデアを出し合いカードに記して、地図に貼りつけていました。300を超すアイデアには「休耕田を利用して山菜、薬草、ソバを栽培し、町の特産品



2班



グループ



ワークショップ
part 1



5班

「観光農園を森林公園に、八石なすや大根など野菜づくりと余りな米で酒づくりを町ぐるみで」など女性らしい食生活分野のものが多く、また「ハイキングコースやサイクリングロード、グループ集会場を造り人的交流を図る」など自然や人を活用するものもありました。



6班

——女性の目から見た「まちおこし地域づくり」座談会は、主催の町や研究センターの先生方もビックリ(?)するぐらいの盛会となりました。小国の女性たちもなかなかやりますねと言ったら、みなさんからお叱りの声も飛んできそうです。……。

藤本教授が講評の中で話された女性と男性の考え方の相違。男性は理想を追求しがちであるが、女

性は五感で感ずる現実を基に問題の解決を図る。男性の気づきにくい生活の中のひとつひとつ問題点のピックアップとそれに対する処理。これらが全て、町おこし地域づくりに着実に繋がっていくのではないのでしょうか。

昨秋と今回の参加者の貴重な意見や卒直な感想は、まちおこしの十分な資料となります。今後もよろしくお願ひします。

メモ

(社)農村生活総合研究センター
昭和50年、農林省(当時)が「全国の農村地域の自然環境、風土、文化的伝統に配慮しながら、農村の生活改善に関し総合的な調査研究を行い、その成果を普及指導に活用する」という観点から設立したもので、すでに全国で多くの市町村の活性化や地域おこしに参画し、その成果を上げている。

memo

まちづくりの課題…身近な生活の中から

—見直そう、家のくらし、むらのくらし—

グループワーク Part 2

ワークショップ第2部は、身近な生活の中からまちづくりの課題を出し合おうと、3グループに分かれて、①子供の教育、しつけ、

あそびの問題点②自分自身の仕事、家事と家業との関係③家族の健康管理④日常生活の楽しみ⑤家族の抱えている悩み⑥むらづきあい⑦

婦人の力で解決できそうなくらしの改善点など7項目について意見交換。生活に密着した意見や感想がいっぱい出された。

グループ 1



小国は嫁に来るまで嫌だったが住めば楽しいリトルランド…です。

社会情勢、経済の変化、発展で、現代の子育ては昔に比べてたいへんであり、行政の学校教育に対する取り組み方も他の市町村に比べて違いがする。また、小国の地域性の関係もあるが、会社勤めのため自分の子供でありながら、自分で面倒を見れない点も歯痒い。

生活の中では、気の合う仲間と時には飲み会などを通じ、意見交換やボランティア活動等の社会参加なども、一種の楽しみと考えている。健康面については、町の検診や生活教室等で比較的心がけている。

多世代で生活するケースでは、中間世代がいつもたいへんです。それぞれのライフサイクルで生活のできる集合住宅等の建設も必要であり、町でも考えていってほしい。

また、地域の婦人の力で、冠婚葬祭等くらしの中で改善できる部分は多いと思うし、それが「まちおこし」に続くものだとしたら素晴らしい。

子供たちは外より家の中で遊ぶことが多く、昔より物は豊富になったが、心をつくるおもちゃや環境が無くなってきている。また、祖母等にまかせきりの関係でしつけ面で反省する点も多い。まず、親が先頭に立って、農村の良さを通じ(作物作り等)子供たちにいろんな体験をさせることで解決できる問題なのかもしれない。

また、町には3つも医療機関があるが、老人をかかえ急病等で困った時に、1つでもいいから安心できる医療機関をつくってほしいと思う。

日常生活エンジョイする点では、スポーツやサークル活動等で人との交流を深め、自分なりの楽しみ方したり、子供の誕生日など家庭で祝ったり、月に1度くらい家族と食事に出かけたりして家族一緒の時間を楽しんでいる。

町外から嫁いで人間関係で圧迫感を感じた点(あいさつ、冠婚葬祭)などは、婦人の力を結集すれば改善していけると思います。

グループ 2



翔んでるおばあちゃんも良い——地味になるのはイヤ!

町外から嫁いで来た人は、地域的な制約で、自分の好きな仕事を続けることができないケースや老人をかかえ、夫が勤めのため農業・家事一切をまかされ、たいへん苦勞している部分がある。ただ、子供たちに家事など分担させ、結果的に子供のしつけの面でプラスになった点は良かった。

小国の子供たちの中にも自然に囲まれて育ちながら、ファミコン、TVの影響からか、自然の中で遊ぶことを知らないというアンバランスな状況が発現しているが、育成会等大人の対応も急務と考えられる。

福祉衛生に関する問題も出され、老人をかかえた勤めなので、いつも心配しながら勤めている。住居の介護をしてもらえる医療施設(中間施設)がほしいし、生ゴミの収集をもっとよくやってほしいなど、現在の生活に即応してもらいたい発言もあり、実感共鳴する人たちも多かった。

グループ 3



他人の子にも気楽に注意してやれる地域(環境)になれば…

町外から嫁いで来た人は、地域的な制約で、自分の好きな仕事を続けることができないケースや老人をかかえ、夫が勤めのため農業・家事一切をまかされ、たいへん苦勞している部分がある。ただ、子供たちに家事など分担させ、結果的に子供のしつけの面でプラスになった点は良かった。

小国の子供たちの中にも自然に囲まれて育ちながら、ファミコン、TVの影響からか、自然の中で遊ぶことを知らないというアンバランスな状況が発現しているが、育成会等大人の対応も急務と考えられる。

福祉衛生に関する問題も出され、老人をかかえた勤めなので、いつも心配しながら勤めている。住居の介護をしてもらえる医療施設(中間施設)がほしいし、生ゴミの収集をもっとよくやってほしいなど、現在の生活に即応してもらいたい発言もあり、実感共鳴する人たちも多かった。

12月議会から

12月定例町議会は、12月21日～24日まで開かれました。議決された事項は次のとおりです。

●専決処分承認

- 昭和62年度一般会計補正予算(第3号)
- " " (第4号)
- 昭和62年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 他
- 昭和62年度一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出9,500万円を追加
- 昭和62年度農業集落排水事業特

別会計補正予算(第4号)

●条例改正

- 町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (集落保安要員の報酬 月額136,000円→139,000円に)
- 町職員の給与条例一部改正 (平均1.38%引き上げ)
- 町税条例の一部改正 (国の地方税法の一部改正に伴う関連条項改正と、軽自動車税の納期の変更。)

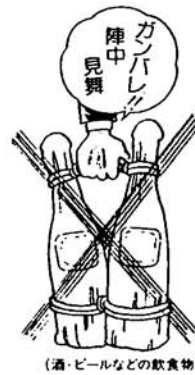
- 町国保税条例の一部改正 (国の所得税法、地方税法の一部改正に伴う関連条項の改正。)
- 町固定資産評価審査委員に選任 (中沢誠三郎氏〔64歳、猿橋〕任期昭和62年12月27日～65年12月26日)
- 人権擁護委員に推選 (中橋寛氏〔68歳、上岩田〕任期昭和63年1月16日～66年1月15日)

他

飲食物提供の禁止

だれでも、選挙運動に関し、湯茶やこれに伴い通常用いられる程度の菓子や運動員、労務者に対する一定限度の弁当以外の飲食物を提供することはできません。

これは、候補者や運動員だけでなく、一般の有権者も同様であり、陣中見舞として、候補者の自宅や選挙事務所、その運動員にお酒や折り詰め等の差し入れをすることも許されません。ただ、現金は寄付として持つて行くのはさしつかえありません。



(酒・ビールなどの飲食物)

農業委員会委員

選挙人名簿縦覧

2月23日～3月8日

1月1日現在で調整した小国町農業委員会委員選挙人名簿ができあがりました。2月23日から3月8日まで役場窓口で縦覧できます。

1日1円の安い会費で

見舞金は最高100万円

交通災害共済に家族そろって加入しましょう。会費は1人1年間350円。見舞金は2万円～100万円まで、その治療日数により支給されます。現在、昭和63年度会員募集中です。詳しくは役場総務課へ。

☎ 95-3111

知っていますか 選挙の知識 ①

～町内就職で伸ばそう郷土の発展～

町内企業求人情報コーナー

[2月分]

職 種	事業所名	所在地	生 産 営 業 品 目	従 業 員 数	求 人 数	年 齢	勤 務 時 間	基 本 賃 金	通 勤 費
縫 製 工	㈱ 小 熊 縫 製 ☎95-3151	二本柳	婦 人 服 製 造	31	男1 女9	18～45	8:00～17:00	90,000 ～120,000	全 額
工程管理用員 縫 製 要 員	㈱ダンハイソックロ ージング ☎95-4100	法 坂	ダンハイソック ランド商品の生産	90	男2 女6	17～28 17～40	8:00～17:00	150,000～ 92,000～	全 額
組 立 工	㈱ 旭 産 業 ☎95-3113	新 町	自動車用電線組立	28	女5	18～35	8:00～17:00	90,000 ～105,000	—
プレス・縫 製	モード・ラ・ヴィル ☎95-4177	七日町	婦 人 服 縫 製	10	男1 女3	～30 18～42	8:00～17:00	150,000 86,000～150,000	定額 5,000まで
製 造 部 員	越後製菓㈱小国工場 ☎95-2148	太郎丸	米 菓 製 造	60	女5 女10	18～40 18～45	8:00～17:00 9:00～16:00	96,000 ～101,000 時給 480～520	80%

柏崎、長岡、小千谷など近隣市町村の求人情報については役場1階ホールでござんください。



もちろん私も行きます! 確定申告は3月15日まで!!

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている皆さんが、自ら税法に従って所得と税額を計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

申告期限は、2月16日(火)から3月15日(火)までです。所得や税額の計算の仕方、申告書の書き方などで分らない点がありましたら、お気軽に納税相談会場や役場税務課、税務署でお尋ねください。

◆納税申告相談日程・会場のお知らせ◆

時間:午前9時～午後4時

月 日	曜	第 1 会 場	第 2 会 場	備 考
2・16	火	鷲之島公民館		
17	水	上栗集落開発センター	原小屋集落開発センター	
18	木	就業改善センター	所得税確定申告(営庶課、農業)	上谷内、二本柳
19	金	〃	〃	相野原
22	月	〃	〃	(農 業) 新 町
23	火	〃	〃	
24	水	〃	〃	
25	木	〃	〃	
26	金	猿 橋 公 民 館	千谷沢集落開発センター	第1は金沢を含む
29	月	法 坂 公 民 館	下村集落開発センター	
3・1	火	太郎丸集落開発センター		小国沢を含む
2	水	桐 沢 公 民 館	箕輪集落開発センター	第2は上村を含む
3	木	檜 沢 地 区 集 会 場	芝ノ又公民館	芝ノ又は午前中
4	金	上 岩 田 公 民 館	七日町担い手センター	
7	月	武 石 公 民 館		押切を含む
8	火	小栗山集落開発センター	八王子公民館	
9	水	原 公 民 館	森 光 公 民 館	
10	木	山 野 田 公 民 館	諏訪井公民館	山野田は午前中
11	金	三 桶 公 民 館	苔野島集落開発センター	
14	月	大 貝 公 民 館	法 末 公 民 館	

※所得税確定申告は税務署から対象者に通知してあります。かならず指定の日に就業改善センターにお出かけください。

※所得税の確定申告をされる方は、町民税・県民税申告は必要ありません。

出稼ぎグループリーダー会議開かれる!

1月31日(日)東京の社会文化会館において東京近県の出稼ぎグループリーダー会議が開催されました。

当日は小国町から町長をはじめとして行政、議会等の代表者が上京、多数のリーダーの方々から貴重な時間をさいて出席いただき、盛会の内に

終了いたしました。

会議では高齢化に伴う就労問題、年々厳しさを増す農業問題、村おこし、ふるさとの情報等さかんに意見交換が行なわれていました。

出稼もあと2ヵ月あまり、くれぐれも事故のないよう体に気を付けて頑張ってください。



くらしと国保

おとしよりと医療費

その2

老人医療費はどうして増えるか

●老人人口の増加によるもの

病気になりがちなおとしよりの医療費の増加によります。

ところで老人医療費が、なぜどんどん増えるのか、その原因と思われるものをあげてみましょう。

ひとつは、諸物価の高騰、人件費の上昇によって生じる老人医療費の値上がりの影響などがあげら



れますが、これは、あらかじめ予測できます。しかし、その他の大きな要因としては、次のようなことが老人医療費増に大きく影響していると考えられます。

①有病率、受診率が高いことによるもの

老人は、病気にかかっていると訴えている人の割合（有病率）が高く、また、病院や診療所にかかる回数（受診率）も高くなっている。

②慢性疾患が多くなることによるもの

老人は、長期の治療を要する疾患の人が多く、病院や診療所への通院回数が増加する。

③入院期間が長くなることによるもの

老人が入院すると療養期間が長

期となり、また、介護人が必要となる。

④お医者さんのかかり方に原因があるもの

老人は、病院を転々としたり、クスリをむやみにほしがったり、お医者さんの指示を守らないために病気が進行してしまうことが、老人医療費を増やしています。

—医療費を有効に活用しよう—

医療費は、節約しようにも節約できないもの、病気になれば医者にかかるだけと、みなさんには、どうすることもできないものと受けとられてきました。しかし、これからは違います。みなさんのちょっとした努力や工夫で医療費は節約できるのです。

●医療費有効利用● 七カ条

- 要領よく症状の説明をしよう。
- 家庭医をもとう。
- 同じ病気でいくつも違うお医者さんにかかるのをやめよう。
- 治療より予防につとめよう。
- 健康診断は積極的に受けよう。
- 栄養、運動、休養の健康3原則を守ろう。
- 医療費に関心をもち、健康保持の工夫をしよう。

旧国民年金法による 老齢年金の支払日の変更について

従来、旧国民年金法による老齢年金の支払日は各支払期月の6日（郵便局の現金支払は14日）とされてきましたが、昭和63年以降の支払期月が、2月、4月、6月、8月、10月及び12月に変更されたことに伴い、支払日も各支払期月の15日となりました。

このことにより、社会保険庁が支払を行う年金給付の支払期月及び支払日については、次のようになります。

年金種別	支払期日	支払日	
		銀行	郵便局 (いは預入扱い)
旧国民年金の老齢年金	2月、4月 6月、8月 10月、12月	15日	15日 (15日)
旧国民年金の通算老齢年金	2月、5月	6日	14日 (6日)
上記以外の年金	8月、11月	1日	11日 (1日)

家庭と子どもの しあわせのために

児童手当法の一部改正が行われ、段階的に実施されて3年目、63年4月1日からは新制度が完全実施されます。

【児童手当を受給できる人】

昭和63年4月1日からは義務教育就学前の児童を含む18歳未満の児童を2人以上養育している方で収入が一定の額未満の場合に2番目の児童から支給されます。なお、自分のお子さんでなくても、その児童を監護し、一定の生計関係があれば受給できる場合があります。

また、義務教育就学前の児童には、病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため就学困難と認められ、現に就学していない児童が含まれます。

【児童手当の額】

児童手当は、2番目の児童には月額2,500円、3番目以降の児童には、1人につき月額5,000円が義務教育就学まで支給されます。

【請求の方法】

昭和63年4月1日に新しく対象となる方は3月31日までに手続きをすませてください。また受給資格があると思われる方で、まだ手当の支給を受けていない方は町役場（公務員の方は勤務先）へ申請の手続きをしてください。

◎現在受給している方々へ

昭和63年2月期定期払い（昭和62年10月分～昭和63年1月分）については2月10日（日）に各金融機関に振込み致しましたので必ず確認をしてください。なお口座の名義人が受給者（一般的には父親）でない方が若干おられますので、次回の定期払いまでに変更して頂くようお願いします。

詳しくは住民課・福祉係まで

児童手当

トピックス

①八石生まれで下村育ち

……私はとっても色白美人。



▲軟化栽培で芽を出したウドと永見さん

下村の永見健一郎さん（66歳）は、1年程前から自宅うら手にある横穴（自家飲用水源跡、現在も湧き出る水を池や自宅前の消雪に使っている）を利用して（図1参照）、八石ウドの軟化栽培に取り組んでいます。

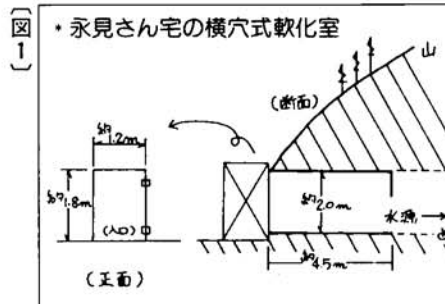
「いやー、始めたばかりで、まだ試験的段階なんですよ」と話す永見さんのあとについて横穴（軟化室）に入ってみました。

内は、外の寒さがうそのようになま暖く、湿度もかなり高い。当然栽培用にストーブ等で加温してあるものと尋ねてみると、ほとんど人工的に加温はしてなく、図2で示すように「踏み込み」と呼ばれる部分の微生物の有機分解によって出る熱で十分という答えが返ってきました。

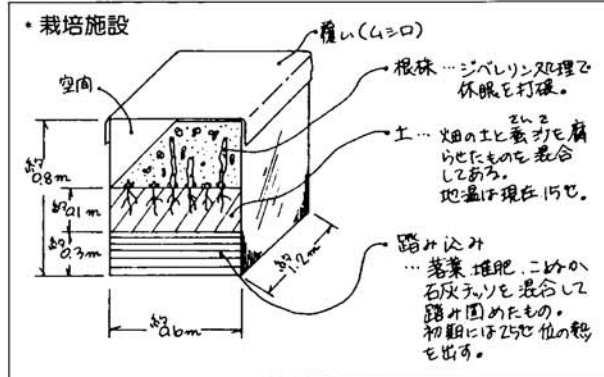
永見さんが軟化栽培を始めたきっかけは、10何年前に『ビルの谷間

でウド作り』という軟化栽培のテレビ放送を見て、興味を持ち、そこへ見学に行ってみたが見せてもらえず、それならと何軒かの本屋さんを尋ねて見つけた軟化栽培の一冊の本を参考に本業のかたわら研究して、夏場養蚕用の桑の貯蔵庫として使っている横穴を活用して栽培を始めました。

現在、軟化室の中には八石山から採取してきて、畑に一時移植してあった株を1芽ずつに分けた、約150株が真冬だというのに10cm～20cm位に成育しています。栽培品種を八石ウドにしたのは、現在流通しているウド（愛知坊主等）に比べ、香気があって、しかも地元



【図2】



で株が簡単に手に入る点に着目。

試食してみると、白くてたいへん軟く香気は旬に比べると少し落るが、スーパー等で売っているウドと違い、真冬に口にする八石ウドの味は、また格別の味わいでした。

ウドなどは、地温が一定の温度まで上昇しないと休眠期を過ぎても芽を出さないそうで、今後、転作地と雪をうまく利用して、発芽成育時期をずらせた栽培が確立できれば一石何鳥にもなると語る永見さんは、今年このウドの試食会等を計画して反響を見たり、また、いっしょに栽培に取り組んでくれる仲間づくりをしてゆきたいと話しています。

②辞令。キツネ殿

あなたを野ウサギ、カラス退治係に採用する。



▲箱から元気にとび出すキツネ、キツネ、キツネ。

「昔むかし、群馬のキツネが小国の野ウサギ退治にやってきました……」と、何十年かあとに民話になりそうなお話。

これは、町が昨年からはじめた野兎被害防止のための天敵利用作戦。今年はカラス退治にも一役かってもらおうと新町のごみ処理場周辺の山に群馬県生まれの野性のキツネ3匹（雄1、雌2）を放しました。

昨年、七日町に放した3匹はワナにかかったりして2匹死んでしまったけれど、野兎の被害は減ったといわれています。

1月18日群馬からつれてこられた3匹は、人間の期待を一身に集め、大きなしっぽをなびかせて雪原にきていきました。

とびっくす

全国中学生人権作文 コンテスト

新潟県大会に入選!

新潟地方法務局・県人権擁護委員連合会で県下の中学生から日常の家庭生活・学校生活あるいはグループ活動等の中で得た体験を通じて、基本的人権を守ることの重要性・必要性についての作文の募集をしたところ、県下46校から9,945編の応募があり、最優秀1点・優秀10点及び佳作40点の入選者が決まりました。そのうち小国中学校から応募した作品の中から優秀2点佳作1点の入選者が選ばれました。

優秀 2年 高橋実知世
「祖父と祖母の人権」
3年 中村 未紀
「私の心の差別」
佳作 2年 高橋 恵
「身近な人権について」
今回優秀2点の作文を紹介いたします。

私の心の差別



中村未紀さん

学校の窓からよく見える、そのきれいな建物は、何らかの理由で一生、身障者、という名を背負っていかねばならない、悲しい運命を与えられた人達が収容された施設でした。

数年前、この施設が建設され、生まれて初めて「身障者」と呼ばれる人達を見ました。今思うと恥ずかしいことですがあの頃の私は、この人達をばかにするような目でしか見ていませんでした。そんなふうだった私でしたが、中学校に入学し、あることがきっかけで、私はこの人達を今までと違う目で見えるようになり、これまでの私の態度について、深く考えるようになったのです。

それは中学1年の冬でした。私は吹奏楽の部活動で、この施設に

訪問し、演奏会を開くことになったのです。このことを聞いた時、私は、すごくイヤな気持ちになりました。そんな人達を相手に演奏なんてできないという気持ちがあったからです。いやいやながら行き、半分なげやりに演奏していたのですが、それがどうでしょう。みんなが真剣に聞き、1曲終わるごとに大きな拍手と歓声。私はびっくりしてしまいました。レクリエーションでやったフォークダンスも楽しいものでした。帰る時も、みんなのあたたかい見送り。これが、私が今までに考えていた「身障者」と呼ばれる人達なのか、と心の中に熱いものがこみあげてきました。こんなことがあり、私は今までの自分を顧みざるをえなくなったのです。

それからはボランティアに参加したり、自分なりに身障者について考えたりして、そういう人達のことを数多く知りました。そして、いろいろなことを学びました。私の町にあるこの施設は、「精神薄弱者」という人達のための施設なのだそうです。その人達は、一般の(ノ)

(ハ)人より、知能や判断が劣り、こんな施設にいられているのでしょうか。小さい時から、世間に冷たい目で見られてきたのに、家族からもみはなされている人などがいます。こんな言い方は失礼だったかもしれません。ですが、お盆やお正月などになっても迎えにきてもらえない人がいるのだそうです。

いつ頃だったか、「身障者って何もしなくてもお金がもらえていいな」ということを聞いたことがあります。その時は、自分もうなずくように聞いていました。しかし、ボランティアに数回参加することで、どうしてお金がもらえるのかを知り、自分がまちがっていたことに気づきました。「障害者」と一度名をつけられてしまったからには、その人達は、自分一人では生活することができないとみなされるのです。ですから、生活保護法などによる、国からの援助がでるのです。その人達にとって「障害者」と決めつけられ、一人で生活できないとわかる苦しみは、どんなに深いものでしょうか。例えば不慮の事故で、一人の人が失明し

たとします。今まではちゃんと生活していったのに、突然にもできなくなり、「障害者」という名をつけられる。生活保護に頼らなければ生活していけない。これほどの屈辱感はあるのでしょうか。どんなにかくやしいことでしょうか。何もできない自分を情けなく思い、一生、自分を責め続けることでしょうか。こんな人達に「お金がもらえていいな」なんて言葉が、どんなふうにも心にふれるか！私の、こういう人達に対する見方が、そんな言葉をいわせるのです。

これらのことは「差別」です。「差別」。私はこんなことは絶対だと思っていました。しかし、私の心は、そういう人達を「差別」していたのです。自分と違うからと、特別な目で見ると、差別の始まりなのです。いくら自分と違うからといっても、同じ一人の人間なのです。私達と同じ生きる権利があるのです。ただ一人一人に与えられた運命が違うだけ。なぜなら、私も、これからの人生を生きる途中、この人達と同じ運命を与えられるかもしれないのだから

ら。こう考えると、差別されるといふ「障害者」の苦しみが、わかるような気がします。そう思うようになった今、自分がどんなに愚かだったかを思い知らされました。

今もまだ少し差別をしがちな私ですが、いつか、「差別」ということを私の脳裏から消し去るよう、今度は考えるだけでなく、ふれあいでそれを克服したいと思っています。

中学3年の自分の進路を真剣に考えるようになった今、私は将来、社会福祉関係の仕事に心が傾いてきています。それは、今年の夏休みに町教育委員会主催のボランティア講習会に5日間友達と参加して、心引かれるものと出会ったからです。人が人として生きることの大切さ、人が人として生きていけるように援助してあげるものの大切さを実感させられました。他の人を、人として生きていけるようにすることが、私が人として生きる自分の道のように思われるのです。

祖父と祖母の人権

『じんけん
〔人権〕＝人が本来持っている生命と自由の権利。』
わたしの持っている辞書には、そう



高橋実知世さん

「生命と自由の権利」、わたしはその言葉になんだかとも素適な響きを感じて忘れられなくなりました。

しかも、それを、わたしも家族も友達も、世界中のすべての人々が持っているなんてすばらしいと思ひ、でもその中には、人権を侵されている人も何人もいると気づき、少しかわいそうな気がしました。

でも、そのかわいそうな原因に、わたし自身も入っていたことに気づきました。

それは、わたしが大好きだった祖父と祖母のことです。大好きだった、そう、小さい頃は大好きでした。まだ祖父も祖母も元気で、遊びの相手になってもらったり、いろんな話を聞かせてくれたりしたからです。

しかし、わたしが成長するにつれて、二人とも年をとってゆき、病気になる、体もきかなくなるとゆきました。特に祖父の入院は大変でした。脳の毛細血管がつまって、血液がいなくなる脳血栓になったのです。そうすると、もう寝たきり同然になり、一人で起き上がることもできません。祖父一人起こすのに、手を引っぱったり足を引っぱったり、なかなか大変です。それに、ベッドに座っていても、そのままの姿勢でいるこ

とができず、すぐ寝てしまいます。そのために食事はスプーンで口まで運んでやらねばなりません。他に誰もそんなことをする人がいなくて、わたしがやらなくてはならない時の、嫌なことだらけありません。周囲の人は、「えらいねえ」などと言ってほめてくれましたが、わたしはちっともうれしくなく、(いやいややっているのにえらいもんか。)と思って皮肉に聞こえさせましたのです。きっとその頃から、祖父や祖母を嫌いになっていったように思います。

まず、汚いと思いました。お風呂にも入っていたのに、どごが、と言われるかもしれませんが、その頃わたしは、古くさいものがたくさんためてある祖父と祖母の部屋に行くのも嫌でした。それに、祖母になると、捨てたものでも、「もったいない」(ノ)

(ハ)とって拾ってきたりするからです。それに耳も遠くなり、話しかけても意味のわからない返事をしたりするので、しまいには腹が立ち、話しかけることも少なくなっていました。そして祖父や祖母から話しかけられるたびに、(うるさいな)などと思ったりもしました。もちろん言葉にこそ出せませんでした。呼ばれても無視したり、冷たい態度をとったりしたこともあり

そんなある日、わたしが茶の間にいると、祖父と祖母の部屋からブーンと嫌な匂い。「やったな」わたしは思わず顔をしかめました。祖母が便が出ないからといって、下剤や漢方薬をたくさん飲んだのを思い出したからです。きっと、突然のことでトイレまでゆけなかったのでしょうか。父や母が、バタ

バタと部屋を出入りしています。わたしは手伝う気など全くなく、その場から逃げるようにして、自分の部屋に行きました。

けれど、それから2、3日たった夜のことで、茶の間で、家の人達の話の話を聞いていると、いつの間にか、この間の祖母の話になりました。わたしもその時のことを思い出し、嫌なので部屋へ行こうかと思った時です。

「嫌な顔せずに……後始末してくれて……うれしくてそ……」祖母の声が響きます。驚いて祖母を見ると、なんと、泣いていました。わたしは初めて祖母の泣き顔を見、そして反省させられました。

祖母はあの日、父や母が始末をしているのを見て、どんなに済まないと思っていたか、祖母がどんなにつらい思いをしていたのか、わたしは気づかなかったのです。祖父の入院にしても、祖父は迷惑

をかけて悪いとか、済まないとか思っていたに違いありません。

今までかわいがってもらい、世話をしてもらったのだから、今度はわたしが世話をするのは当然のことなのに、わたしは、祖父や祖母のことを考えずに、冷たくあたって、苦しい思いをさせていたのではないかということに気づきました。

そのことに気づいてよかったです。祖父も祖母も、まだ生きているのだから、これからでも十分に優しくしてあげられます。幸せだと思わせてあげたい。それは大変なことかもしれませんが、けれど、祖父や祖母の持っている、生命と自由の権利、それに幸せも加えて、大切にやりたいと思います。

昔、あつてんかの!

1月17日(日)小国のとんと昔を聴く会が就業改善センターでひらかれました。これは、小国芸術村現地友の会(山崎正治会長)が開いたもので4人のおとしよりが語り手になり、小国に伝わる昔話しが語られました。会場には、子供たちやおかあさん、それに民話採取に来町していた日本民話の会の一行などあわせて50人が参加。「さす」と、合の手をいれながら聴き入っていました。

現地友の会ではまた、4月をめどに地域の文化誌の編集もすすめています。題名は「へんなか」。創刊号の特集は小国和紙。小国の薫りいっぱいの本にしようと呼びかけています。



NHK学園高校生徒募集

NHK学園高等学校では、63年度の生徒を募集している。卒業後、長いブランクのある人でも支障なく学習を進めることができる。

NHK学園高校はテレビ・ラジオを利用して学習する広域通信制高校で、4年間で高校卒業の資格が得られる「高校普通科コース」が得られる。また、書道や俳句、油絵など、特定の科目だけを選んで単位を取り、一般社会人を対象とした「生涯学習講座」もある。受講案内(無料)はハガキで、〒951 新潟市川岸町1の49NHKする科目を自由に学習する「教養新新潟放送局へ。」(締切 4月15日)コース」などがある。どの科目も基礎からスタートするので、中学

昭和63年度 職業訓練生募集!

めまぐるしい技術革新と高齢化社会の急速な移行が叫ばれている現在、職業能力の開発向上は企業の発展と明日への豊かな生活を築くため優れた技術者の養成を目指して、次の訓練生を募集します。

- 募集コース
 - 土木科 20名
 - 2級建築士受験コース 20名
 - 建築科 10名
 - コンピュータ科 22名
 - ワープロ科 昼20名 夜11名

- 申込期限 昭和63年3月20日(但し、定員になり次第切ります)
- 申込先 入校金と印鑑を添えて、柏崎市栄町18-10(武道館隣) 認定 柏崎高等職業訓練校 ☎0257-23-5385

「県民が選ぶ雪国風物詩」募集!

県と県観光協会では、広く県民から雪国新潟らしさ、雪の魅力を象徴する風物誌を次の要領で写真募集しています。入选作品はパンフレットやパネル等に活用します。

- ◆応募規定・規格 応募作品は、昭和62年12月から昭和63年3月までに撮影した自作品で未発表のもの。カラープリントの四ツ切判(サービス四ツ切判も可)
- ◆発表 昭和63年5月中旬(入選者本人に通知)
- ◆応募先 〒950 新潟市新光町4-1 新潟県観光協会 (☎025-283-1188)

新春囲碁将棋大会

1月24日(日)午前9時から、就業改善センターで新春囲碁将棋大会が開催されました。参加者は囲碁19名、将棋12名と少数ではありましたが熱戦に熱戦を重ね下記のような結果となりました。

初心者のあなた——来年はぜひあなたもどうぞ!

- 囲碁の部
 - Aグループ(有段者クラス)
 - 1位 飯塚 隆司(鷺之島)
 - 2位 佐藤 修(原小屋)
 - 3位 田中 米平(森 光)
 - Bグループ(無段者クラス)
 - 1位 小林 忠行(下 村)
 - 2位 野田富三郎(桐 沢)
 - 3位 永見慎一郎(下 村)
- 将棋の部
 - Aグループ(高校生・一般)
 - 1位 高橋 肇(相野原)
 - 2位 根津 正樹(桐 沢)
 - 3位 山口富士夫(金 沢)
 - Bグループ(小・中学生)
 - 1位 大橋 靖昭(武 石)

小国町俳句作家連盟 第16回新年俳句大会

(1月4日、参加30人)

- 兼題(新年雑詠)
 - 1位 小川 黄梅(大 貝)
 - 2位 山崎 草志(法 坂)
 - 3位 今井 勝人(小国沢)
 - 4位 北原 ティ(太郎丸)
 - 5位 山崎 姫峰(法 坂)
- 1句高点 羽根高く 長女は長女の音返す(小川黄梅)

- 席題(紙・初雀)
 - 1位 栗林 諸向(法 坂)
 - 2位 今井 勝人(小国沢)
 - 3位 北原 ティ(太郎丸)
 - 4位 富沢 陵霧(檜 沢)
 - 5位 山崎 灯谷(法 坂)
- 1句高点 屠蘇の息 足して吹き込む紙風船(栗林諸向)

さわやか君 西村 宗



8人制綱引き大会 出場チーム募集

(選手8名交代選手4名以内)

- ☑ 3月6日(日)午前9時より
- ☑ 農村環境改善センター
- ☑ 1チーム1,000円
- ◆参加申し込み2月25日(木)までに教育委員会へ (☎95-3111)

●職場、友達同志、部落内有志等どんなチームでもかまいません。ふるってご参加ください。詳しくは、各集落の公民館活動推進員へお尋ねください。

なお今大会は、参加チームより1名審判を出していただきたいと思ひます。そのための審判講習、はじめて参加するチームのための実技講習及び代表者打合せ会を、2月29日(月)午後7時30分から農村環境改善センターで行ないますのでお集まりください。

1月の作品

- * 気さく人皆に好のまれ 柚子なます 佐々木ヨシ(猿橋)
- * 柚子風呂に同じかおりや夕家族 北原ティ(太郎丸)
- * 柚子一つ買って終りぬ暮の店 関口タミ(楮沢)
- * 蓋とれば疎遠がひそむ 柚子の壺 片桐金四郎(小栗山)
- * 陽を受けて 樹肌伝わる 霜雪 林みづえ(原小屋)

12月の作品

- * 針穴のさだかに見えす 雪催ひ 田中ミイ(相野原)
- * 肩の雪叩かれ園児バスに乗る 山崎姫峰(法坂)
- * 母は下屋息子は母屋を雪却し 市川達雄(原小屋)
- * 雪靴を妻に渡して 出稼ぐ 山口清作(金沢)
- * 教師ひとり おしえ子ひとり 雪が降る 片桐金四郎(小栗山)

俳句教室